

11月	豊川 愛護モニター報告	モニター区間	豊川: 左右岸 吉田大橋～当古橋
			管轄出張所: 豊川出張所
実施日	令和元年11月29日	実施区間	吉田大橋～下条橋



本日は吉田大橋から右岸を上流に向け、下条橋まで観察しました。今年の夏から秋は、昨年が増えて天候不順でした。台風に伴う川の増水や落雷の影響が河岸や河川敷の果樹に残っているのではと、考えました。けれども、現場は、小春日和の穏やかで美しい自然を見せてくれました。流木やゴミの漂着もほとんどなく、少し拍子抜けしました。堤防の草刈りは丁寧に行われ、サッパリし、交差点の見通しも良い状態でした。草刈作業の皆さんのご苦勞に感謝です。本宮山の右手に続く伊那谷を遠くまで見通すことができます。雪山もあり、たぶん赤石山脈の北岳か赤石岳でしょう。堤防は素晴らしい眺望です。ぜひ皆さんも車から降り、堤防を歩いてみてはいかがでしょうか。(車に気を付けて)

ただし、11/11の雹で河川敷の柿も大きな被害を受けました。生産者のみなさんのご落胆は察するに余ります。ちよいキズのものなど、グリーンセンターで利用させていただきました。



最後の写真は、牛川の渡し右岸に放置されたプレジャーボートです。7月に観察した状況と同じですが、河川事務所から撤去を促す公告が11/20付でされていました。持ち主、使用者は早急に撤去していただきたいと思います。

先日、地域の自主防災会で地区のみなさんへアンケートをとったところ、水害時に警戒レベル3での避難は、「避難しない 自宅の2階へ」と答えた方が39.6%でした。2階で大丈夫と言う科学的な根拠を元に答えられているか、とても心配になりました。最新の洪水ハザードマップを元に、今一度、避難計画を見直しましょう、と呼び掛けているところです。